

飛鳥資料館の秘蔵物 (1) 七支刀レプリカ

飛鳥資料館の倉庫には様々な所蔵品が眠っています。この中には、国の重要文化財の貴重な考古資料をはじめレプリカまで様々なものが多数あります。これらのうち、展示のために倉庫から出され、皆様にご覧頂く所蔵品は、ごく一部だと言えるでしょう。そういった所蔵品の中で、当館が所蔵する、すこし変わった資料や、なかなかご覧頂く機会が無い秘蔵のお宝を、このシリーズで紹介していきたいと思ひます。

今回取り上げる秘蔵物は、「七支（枝）刀レプリカ」です。このレプリカは、1967年度に加藤義行氏によって製作され、文化庁が管理していましたが、1976年から飛鳥資料館が管理をおこなうことになり、現在に至ります。

七支刀と聞いて、どのような刀をご想像される

でしょうか？ 七支刀とは、奈良県天理市石上神宮に伝わる全長約75cmの鉄製の刀で、刀身から6つ枝分かれした刃が出ており、ちょっと風変わりな形状をしています。また、刀身の表裏には、61の文字が刻まれています。千数百年前に造られた七支刀は、形状に目が惹かれますが、日本と大陸との関連を示す、最古の文字資料でもあります。実物は保存状態が良好とは言えず、銘文の一部が摩滅しており、もどかしいことに一部の文字が判読できないため、解釈には諸説あり、論争が長く続いています。

皆様は、この謎めいた七支刀に彫られた文字をどのように解釈されるのでしょうか？ 飛鳥資料館に眠る七支刀レプリカも、その謎が明らかにされる日を待ち望んでいるかもしれません。

(飛鳥資料館 成田 聖)



【銘文】 (表) 秦四年五月十六日丙午正陽 造百練鋼七支刀 辟百兵 宣供供候王
(裏) 先世以来未有此刀 百瀬王世子奇生聖徳 故為倭王 造 伝示後世

記録

埋蔵文化財担当者研修

- 保存科学Ⅰ（無機質遺物）課程
2009年10月15日～23日 9名
- 保存科学Ⅱ（有機質遺物）課程
2009年10月23日～30日 7名
- 遺跡地図情報課程
2009年11月17日～20日 15名
- 自然科学的年代決定法課程
2009年11月30日～12月4日 7名

現地見学会

- 平城第458次（興福寺南大門）
2009年9月27日（日） 2,265名

現地説明会

- 飛鳥・藤原第160次（藤原宮大極殿院回廊）
2009年11月29日（日） 945名

飛鳥資料館 秋期特別展

- 展示
「北方騎馬民族のかがやき 三燕文化の考古新発見」
2009年10月16日（金）～11月29日（日）
- 記念講演会 於：飛鳥資料館
2009年10月17日（土）午後1時～

本庁舎ガイダンスコーナー展示

- 特別企画展
「地下の正倉院展－二条大路木簡の世界－」
2009年10月20日（火）～11月29日（日）

藤原宮跡資料室展示

○「藤原京跡出土木簡の展示」

2009年11月24日（火）～12月7日（月）

公開講演会（第105回）於：なら100年會館

2009年11月28日（土）午後1時30分～

「これからの平城宮跡－遷都1300年を迎えて－」
所長 田辺 征夫

「世界都市長安城の風景－平城京の原型－」
都城発掘調査部主任研究員 今井 晃樹

「平城京遷都の歴史的背景－日本古代都城の出現と変質－」

都城発掘調査部長 井上 和人

お知らせ

飛鳥資料館 冬期企画展

○展示

「飛鳥の考古学2009」

2010年1月22日（金）～2月28日（日）

平城宮跡歴史文化講座（第10回）

（NPO平城宮跡サポートネットワーク主催）

2010年1月23日（土）午後1時30分～

「近隣諸国との交わり」於：奈良県中小企業会館
奈良大学教授 東野 治之

編集「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.jp/>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2009年12月